

## 平成 26 年度 四日市港管理組合当初予算の概要

### 1 当初予算編成の考え方

平成 26 年度当初予算は、「四日市港戦略計画 2011～2014」の最終年度として、組織団体（三重県・四日市市）を取り巻く厳しい財政状況を踏まえ、事業の選択と集中を図り、目標の実現に向けた取組を着実に推進することを基本方針として、編成しました。

### 2 予算の規模

（単位：千円、％）

区 分	25年度当初予算	26年度当初予算	増 減 額	伸び率
一 般 会 計 ( 県 市 負 担 金 )	6,257,303 (3,465,640)	<b>6,101,982</b> <b>(3,423,547)</b>	△155,321 (△42,093)	△2.5 (△1.2)
港湾整備事業特別会計	5,137,972	<b>3,441,189</b>	△1,696,783	△33.0
合 計	11,395,275	<b>9,543,171</b>	△1,852,104	△16.3

#### （1）一般会計

一般会計の予算総額は 61 億 198 万 2 千円で、平成 25 年度当初予算額と比較しますと、1 億 5,532 万 1 千円の減少となっています。歳入にあつては、港湾改修事業負担金等の減により国庫支出金 1 億 3,341 万 7 千円が減少する一方、単独事業の増などにより組合債が 3,800 万円増加しています。また、歳出にあつては、港湾施設等の維持補修の増などにより港湾管理費が 9,313 万 4 千円増加する一方、国補港湾改修事業費の減などにより港湾建設費が 2 億 3,367 万 9 千円、公債費が 6,817 万 6 千円それぞれ減少しています。

#### （2）港湾整備事業特別会計

特別会計の予算総額は 34 億 4,118 万 9 千円で、平成 25 年度当初予算額と比較しますと、16 億 9,678 万 3 千円の減少となっています。歳入にあつては、平成 25 年度に着手した霞ヶ浦地区北ふ頭土地造成工事の進捗等により組合債が 16 億 6,500 万円減少しています。また、歳出にあつては、霞ヶ浦地区北ふ頭土地造成工事の進捗等により建設事業費が 16 億 1,041 万 2 千円減少するとともに、公債費が 9,452 万 1 千円減少しています。

### 3 主な取組

四日市港管理組合は、「四日市港戦略計画」に基づき、ご利用いただく皆さんに、さらに満足していただけるような港をめざして、3つの視点に立った取組を中心に進めてまいります。

※「四日市港戦略計画 2011～2014」を参照

物流を支える港づくり

参考：政策1（施策101、102）

四日市港の最も重要な役割である背後圏の産業を物流面から支えるため、荷主企業や船会社に対して、さまざまな取組を行います。

#### （1）荷主企業に対する取組

荷主企業の皆さんに対しては、物流コストの低減、利便性の向上、環境負荷の低減を目的として、グリーン物流の支援を行うとともに、物流センターのための土地造成事業や臨港道路霞4号幹線などの施設整備を引き続き進めます。また、四日市港における港湾運営の民営化を推進するため、改正港湾法に基づく特例港湾運営会社の指定を受けるための新会社に管理組合として出資します。

#### <主な事業>

##### （特別会計）

- ・グリーン物流促進補助事業 25,000 千円
- ・霞ヶ浦地区北ふ頭土地造成事業 400,000 千円（別冊P1）

##### （一般会計）

- ・国直轄事業負担金（霞4号幹線整備事業分） 1,125,000 千円（別冊P2）
- ・特例港湾運営会社の指定を受ける新会社への出資 2,500 千円（別冊P3）

#### （2）船会社に対する取組

船会社の皆さんに対しては、寄港コストの低減や取扱貨物量の増加、コンテナ船の大型化に対応するため、基幹航路等コンテナ船寄港誘致補助制度等の各種インセンティブの導入、既存の荷役機械（コンテナクレーン）の改修のほか、増設についても着手していきます。

#### <主な事業>

##### （特別会計）

- ・寄港誘致補助事業 20,000 千円
- ・霞ヶ浦地区北ふ頭荷役機械（コンテナクレーン）の建設 <債務負担行為の設定>（別冊P4）
- ・霞ヶ浦地区南ふ頭荷役機械（コンテナクレーン）S-1号機の改修 332,229 千円

背後地の安全確保のために、管理組合が管理している海岸保全施設について、既存施設の適切な維持管理に努めるとともに、優先度の高いところから計画的に整備を進めていくこととし、引き続き、人口密集地域である富田港地区において海岸保全施設補強工事などに取り組みます。

また、災害時等のリダンダンシー機能の強化などの観点から、臨港道路霞 4 号幹線の整備促進に引き続き取り組みます。

さらに、大規模地震が発生した場合の緊急物資輸送、被災地の復旧・復興を支えるため、市街地に近い四日市地区第 3 ふ頭 15 号岸壁の耐震強化事業に引き続き取り組みます。

#### <主な事業>

##### （一般会計）

・ 富田港地区の護岸補強工事	180,000 千円
・ 新富洲原ポンプ場電気設備改修工事	90,000 千円
・ 国直轄事業負担金（霞 4 号幹線整備事業分）	（再掲）
・ 四日市地区第 3 ふ頭 15 号岸壁の耐震強化対策工事	400,000 千円 （別冊 P5）

多様な主体の参画を進めながら、「四日市みなと講座」や「四日市港まつり」などを開催し、港とふれあう機会を提供していきます。

また、貴重な港湾景観に配慮しながら、親水性を高め、憩いの場を広げて、住民の皆さんが身近に感じられる港づくりの実現に向け、老朽化した既存施設の有効活用を図るべく、四日市地区の千歳町物揚場を緑地に利用転換していきます。

さらに、港湾緑地の適切な維持管理を行い、四日市港を訪れる人が、憩い、安らぐことのできる空間の提供に引き続き努めていきます。

#### <主な事業>

##### （一般会計）

・ イベント・交流事業費（みなと講座、港まつりなど）	1,515 千円
・ 千歳運河緑地整備	45,000 千円
・ 単独緑地維持補修費	48,858 千円